

佐世の由来

スサノオがヤマタノオロチを倒し家を建てる場所を探しているときに、休憩で佐世に立ち寄りました。

そのとき、オロチの怨霊があらわれました。オロチを倒し気分が良くなったスサノオは「舞い」をしました。

そのとき頭にさしていた木が落ちました。それを見た人々は不吉だと言いましたがスサノオはそれを「さ

せ！」とクシナダヒメに命じました。そしてクシナダヒメが地面に指した木が佐世の木です。スサノオが

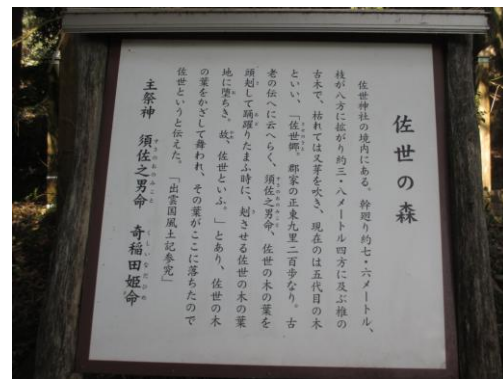
「刺せ」と言ったので『刺せ』→『佐世』になってこの地域を佐世と言うようになりました。



佐世小学校にある書  
スサノオが舞った時に言った言葉  
「強く 明るく 優しくあれ」が書かれている。



佐世神社の「佐世の森」



佐世神社の「佐世の森」の説明



佐世小学校にある絵  
「佐世」の地名の由来を描いた絵。

編集後記

佐世には、大きなデパートや遊園地などの建物はありません。それに、佐世に住む若者はどんどん少なくなっています。しかし、佐世について改めて調べると良い所がたくさんあると知りました。「自然がたくさんあるところ」「人が少ないからこそ協力しあえる」ところなど、アンケートをしてみて私たち自身も考えさせられました。

未来の佐世はどうなっているのでしょうか。私たちは、佐世のことをずっと忘れずに大切にしたいです。

(佐世小学校 6年生)

# 佐世いいところ情報リーフレット

## 佐世を知ってもらおうプロジェクトを始めようと思った理由

学級で佐世の良いところについて話しあったところ「佐世の木」の話が出ました。そこで、「佐世の木」を見に行ったり由来を聞いたりした結果、深い意味があると分かりました。そんな中で、佐世に住んでいる人たちは佐世のことについてどのくらい知っているのだろうかという疑問が出されました。交流センターに協力していただいて、佐世の全戸を対象にアンケートをした結果、佐世について知らない人が多くいました。だから、佐世のことについてもっと知ってほしいと思い、佐世を知ってもらおうプロジェクトを始めました。

佐世に住んでいる人にも住んでいない人にも、佐世のことについてもっと知ってほしいと思ってこのリーフレットを作りました。



☆佐世マップ



子供たちのいいの場  
かわこ広場



狩山八幡宮



佐世小学校

佐世神社

佐世神社は、完成した年代は不明ですが大東地区で最も格式の高い神社の一つです。境内はたくさんの木があり佐世の森と言われています。その中でも佐世の木と言うシイの木があります。佐世の木は、スサノオミコが植えたと言われています。佐世神社は、風土記にものっています。



佐世神楽

佐世神楽は、さまざまな演目があります。その中でもやと おろちたいじ やと すさのお 八戸く大蛇退治が、有名です。八戸は、須佐之男みこと やまたのおろち くしなだひめ 命が八岐大蛇を退治して奇稲田姫と結婚する話です。須佐之男 命はそこ、今の須賀神社で「八雲立つ はずもや えがきつま やえがき やえがき 出雲八重垣 妻ごみに 八重垣つくる その八重垣を」と わか いう和歌をよみ、須我神社を作られました。それ以外にも、ち わ さんじんさい 茅の輪や山 神祭などの演目があります。



佐世神楽の様子



佐世城

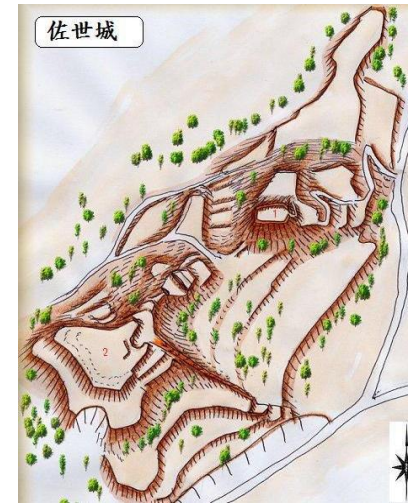
さ せ こんごうさん さ せ し きよてん ちくじょう さ せ しはいかんり 佐世・金剛山は佐世氏の拠点で、いつごろ築城したかはっきりしていませんが、佐世を支配管理し、また

がいてき そな じょうけん 外敵に備えるのにも立地条件がよく、古くから城砦がありました。佐世氏が成長するに至ったのは応仁の乱

さ せ ためのぼる 以後と思われ、6代佐世為徳以降に築城されたものと思われま

お き どじょう ためのぼる ちくじょう お き どじょう さ せじょういぜん 現佐世城の近くに出城として小木戸城があり、為徳が築城したとい

さ せ ほんじょう さ せじょう さ せきよむね ちくじょういてん 佐世の本城であったといわれ、佐世城は後年佐世清宗が築城移転したともい



現在の佐世城跡

佐世城の昔の地図



佐世の米作り

佐世ではおもにコシヒカリやつや姫を育てています。つや姫は、雲南市のブランド米「プレミアムつや姫 たたら焔米」にもなっています。たたら焔米の条件は3つあります。1つ目は、1.9ミリ以上の大粒で均一な形のもの。2つ目は、一等米でタンパク質が一定の基準をこえないもの。3つ目は、鉄分を含んだ上質な肥料で育てられたもの。この3つの条件をクリアした米が「プレミアムつや姫 たたら焔米」になります。この米は、もちもち感があり冷めてもおいしいのが特長です。佐世は栽培面積が広く、優れた「プレミアムつや姫 たたら焔米」が生産されています。



佐世川

佐世川は、西阿用から上佐世を通り下佐世で赤川に合流する斐伊川水系の一級河川です。水源は西阿用の山の中で、全長は10キロです。

ヨリノボリ、アブラハヤ、コイ、フナ、ザリガニ、サワガニ、タニシ、ニホンイシガメなどたくさんの生き物が生息しています。佐世の中心を流れる私達の自慢の川です。



佐世川の源流



佐世川の中流



佐世川と赤川の合流点